

水産業の健全な発展と 安全な水産物の安定供給のための研究開発

■沿岸域や内水面の漁業の振興のために、漁場環境の保全や修復などの研究を進めます。また、水産資源を増やすために、効果的な種苗放流技術を開発します。

■養殖業の発展のために、クロマグロやニホンウナギなどの種苗量産技術の開発や、養殖に適した性質を持つ魚介類の作出、病害予防技術、飼育技術、養殖経営の安定化に繋がるための技術を開発します。

■漁業を中心に、省エネ・省コスト・省力化の研究開発と、現場ニーズを的確に把握した防波堤などの漁港施設の整備・維持管理や防災などに関わる技術開発を進めます。

■安全・安心な水産物の供給のため、海洋生物の毒などを高い精度で分析する技術や、産地偽装を防ぐために原産地などを判別する技術開発を行います。

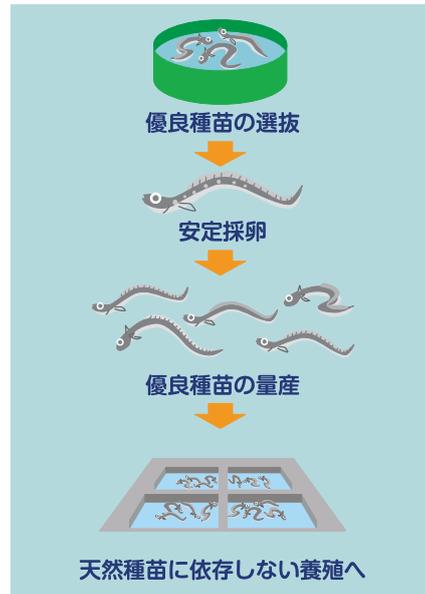
■水産物の輸出を促進するための研究開発を行います。



沿岸漁業の振興



軽労化による
漁業振興
(アシストスーツ)



養殖業の振興 (ウナギ種苗量産化)



省エネ化 (LED漁灯)

- 漁場保全と水産資源の造成
- 養殖業と内水面漁業の振興
- 漁業の安全・省エネ化とインフラ整備
- 水産物の安全・安心と輸出促進

競争力の高い水産業の創生

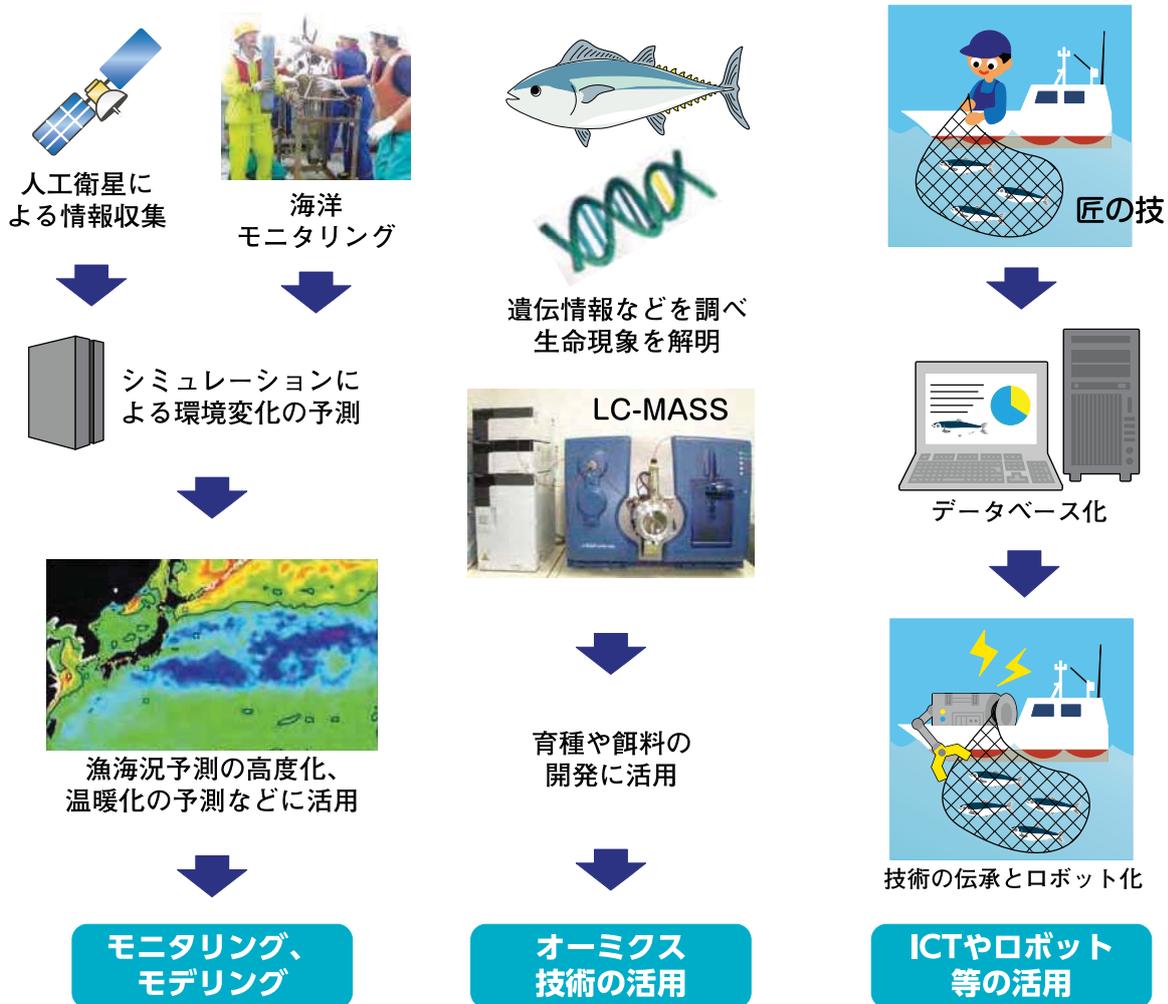
海洋・生態系モニタリングと次世代水産業のための基盤研究

■日本周辺海域の海洋・生態系モニタリングの着実な実施と、気候変動に伴う海洋生態系の変動の把握を進め、得られたデータや情報、標本等を適切に収集・保存・管理します。

■リモートセンシングや音響探査による先進的な海洋モニタリング技術の開発とともに、データ統合システムや海洋モデルの開発を進め、水産研究や産業で利活用します。

■ゲノム情報と生命現象を一体的に解析するオーミクス解析技術の導入をすすめ、育種、環境診断・修復、資源評価等に資する技術開発を行います。

■他分野と積極的に連携するとともに、気候変動への適応、漁業人口の減少、エネルギー転換等、水産業が抱える課題に対応するため、水産現場でのロボット、ICT、再生可能エネルギー等の利活用技術の開発を行います。



ほかの重点研究課題や次世代水産業の発展に貢献